



霧が丘

令和 3年 3月 26日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 出口 晴基

本年度も大変お世話になりました。力を合わせて乗り越えて行きましょう。
来年度もよろしく願いいたします。

校長 出口 晴基

令和2年度は、コロナ禍で学校の教育活動は大きく影響を受けました。しかし、小学部の運動会は「きりっこスポーツ2020」、中学部の体育祭は「霧リンピック2020」と名前を変え、競技内容の工夫、時間の短縮など、知恵を出し合い、全校の努力で新しい形での体育的行事を開催することが出来ました。そして、中学部の学習発表会「あすなろ」は、感染防止対策をしつつ予定通りの時期にクラス劇の発表を、その保護者と中学部生徒全員で鑑賞しました。これまでの伝統がしっかりと受け継がれたと感じました。

さる11日の卒業証書授与式では97名、25日の前期課程修了証書授与式では89名の皆さんに卒業証書、修了証書をお渡ししました。新型コロナウイルス感染症対応での2回目の授与式となりました。地域、ご来賓の皆様には出席いただけませんでしたでしたが、今回は、卒業生修了生の保護者1名の方には出席いただくことが出来ました。感染予防でマスクの着用、座席の間隔をあけたり、換気のために窓や扉を開けたり、時間短縮など対策を講じて実施しました。保護者の皆様とともにお祝いできたことは、何よりでした。お子様の立派に成長した姿に感慨もひとしおであったと思います。

この1年、児童生徒、PTA保護者、そして霧が丘の地域の皆様、全員の工夫と努力によって霧が丘学園は教育活動を進めることができました。心より感謝申し上げます。また、今回の卒業式は、テレビ局、新聞社から取材を受けました。本校の取組が紹介されたことは、コロナ禍での卒業生の思いなど、学校からの発信にもつながり、良い機会であったと思います。「いい学校だね、素適だね・・・」とお褒めの言葉も寄せられています。

これからコロナはまだまだ続くことと思います。新しい日常ですが、見方とらえ方を変えると新しい発見、アイデアが得られるはずです。様々な情報を得ながら、状況に対応しつつ、児童生徒を第一に、最善の努力をしてまいります。年間行事の検討など、今後も対応に迫られることが考えられます。どうぞご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。このような状況だからこそ、学校は、保護者地域の皆様との信頼関係が最も大切です。互いに手と手を取り合って、義務教育学校ならではの子どもたちの健やかな成長を願い、乗り越えて行きたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします